



株主の皆様へ

第**69**期

**報告書**

2023.4.1 ▶ 2024.3.31

# グループ経営理念

山一電機グループは、人・企業・社会・地球とのより良い結びつきを柔軟な技術力と発想力をもって意欲的に創造する「もっとしなやかにBetter Connection」をコーポレートスローガンに、お客様の価値創出に貢献します。

## 1 人の尊重

人を育て、人を活かし、会社の発展と個人の幸せの共有を目指します。

## 2 企業価値の最大化

株主をはじめとしたステークホルダーの要請に応え、適正利潤を追求し、企業価値の最大化を目指します。

## 3 企業品質の向上

信頼の最大の基盤である優れた製品品質と企業品質を提供することによって、顧客の満足を図ります。

## 4 技術立社への挑戦

開発型企業として、たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、半歩先をゆく技術を提供します。

## 5 社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、社会から信頼される企業であり続けます。

### セグメント別売上高構成比と主要な事業内容 (2024年3月31日時点)

#### ● 光関連事業

3.7%

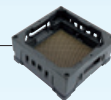
RGBフィルタ、UV/IRカットフィルタ、ダイクロイックフィルタ・ミラー、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、バンドパスフィルタ、半導体レーザー光源

売上高  
36,423  
百万円

#### ● テストソリューション事業

43.5%

バーンインソケット、テストソケット、半導体テスト関連サービス



#### ● コネクタソリューション事業

52.8%

高速伝送用コネクタ、カードコネクタ、インターフェースコネクタ、基板コネクタ、圧接コネクタ、実装用ICソケット、その他各種コネクタ、YFLEX®(高速伝送用ケーブル、実装基板)



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の事業概況をご報告いたします。

代表取締役社長  
亀谷 淳一



当連結会計年度における世界経済は、各国においてコロナ禍による経済活動への制約が解除され正常化が進んだものの、世界的にインフレが長期化する中で欧米を中心とした金融政策による景気の減速懸念と不安定な為替相場、長期化するウクライナ問題に伴う資源高、中東を中心とした新たな地政学的リスクの高まり等により先行きが不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループはテストソリューション事業にて2022年度後半からスマートフォンを中心としたモバイル機器用半導体及びメモリ半導体市場での需要低迷による生産調整や投資抑制の影響が続いたことに加え、コネクタソリューション事業では欧州産業機器市場及び北米通信機器市場向けビジネスでの長引く在庫調整の影響を受けました。また、国内及びフィリピンでの新工場立ち上げに伴う一時的な諸経費増加及び、原材料費やエネルギー価格の高騰によるコストアップ影響を抑制する努力を続けましたが、利益面に影響が出ました。

その結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高36,423百万円(前年同期比22.5%減)、営業利益2,933百万円(前年同期比67.9%減)、経常利益2,914百万円(前年同期比69.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2,060百万円(前年同期比71.4%減)となりました。

今後の世界経済の先行きにつきましては、世界的にインフレの長期化や各国での金融引き締めの継続に加え、ウクライナ情勢や中東情勢を中心とした地政学的リスクの増大等により不透明な状況にあり、今後も予断を許さない状況が続くと予想されます。

当社グループを取り巻く市場環境につきましては、主力の半導体市場では品種によって回復度合いに差はあるものの、市場全体では中長期的に市場拡大が進むと見込んでおります。

このような状況の下、当社グループは、テストソリューション事業におきましては、大きく低迷しておりましたスマートフォンを含むモバイル機器市場でのビジネス復調を見込んでおります。メモリ半導体市場ではDRAM向け製品は生成AIを含むデータセンターを中心に需要が増加しますが、NAND向け製品は回復が遅れると見込んでおります。ロジック半導体市場では自動車ADAS向けを中心に堅調な推移を見込んでおります。コネクタソリューション事業におきましては、車載機器市場向けは堅調な推移を見込み、通信機器市場向けは顧客での在庫調整の一巡から緩やかな回復を見込んでおりますが、産業機器市場向けは主力の欧州市場での在庫調整の長期化が懸念されます。

2025年3月期の通期連結業績の見通しにつきましては、売上高46,000百万円(前年同期比26.3%増)、営業利益7,500百万円(前年同期比155.7%増)、経常利益7,200百万円(前年同期比147.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5,000百万円(前年同期比142.7%増)を見込んでおります。

なお、見通しの前提となる為替レートは、1米ドル=145.00円、1ユーロ=155.00円としております。

株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



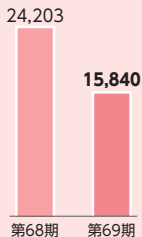
## テストソリューション事業

バーンインソケット、テストソケット、半導体テスト関連サービス

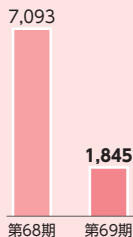
売上高構成比  
**43.5%**

(単位：百万円)

売上高

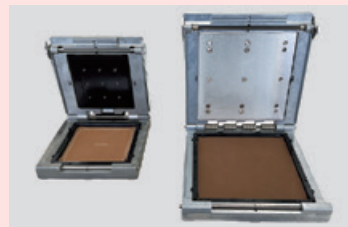


営業利益



### 超高性能ロジック半導体向けバーンインソケットの拡充

今後更に導入が進むAI（人工知能）。また、それに伴いビッグデータの活用など、データセンターにおける情報量も年々増加し、適格且つ高速で処理する超高性能ロジック半導体のニーズが急速に高まっております。このような半導体パッケージは超多ピン、大型化しており、同時に発熱量も増加しております。当社では長年培ったソケット設計、開発、製造技術を駆使して、超高性能半導体に耐える高強度、操作性、放熱特性など各種の半導体試験にて柔軟に対応出来るようソケットシリーズを継続して拡充しております。今後もお客様のニーズにお応えする技術開発に取り組み、最適なテストソリューションを提案してまいります。



大型、超多ピン対応  
バーンインソケット

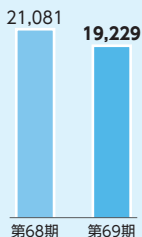
## コネクタソリューション事業

高速伝送用コネクタ、実装用ICソケット、YFLEX®（高速伝送用ケーブル）、等

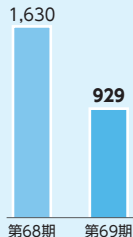
売上高構成比  
**52.8%**

(単位：百万円)

売上高



営業利益



### データセンター向け新プラットフォームに対応した垂直型OSFP\*1コネクタをラインアップ

データセンターシステムにおける伝送スピードの高速化及び高密度化のボトルネックとなっていたASIC(Application Specific Integrated Circuit)\*2と光トランシーバ I/O間の距離を解決できる新プラットフォーム\*3(VLC\*3(Vertical Line Card)\*3)に対応したVLC-OSFP Host コネクタ及びメカニカルパーツを開発しラインアップいたしました。本製品は、当社保有の技術力をもって開発が可能となった製品です。本製品を使用することでデータセンターシステムを構築する際に課題となる冷却性能の向上と低消費電力化を実現することができます。今後、更なる伝送データ容量の増加と伝送性能の高速化が加速する市場へ対応するために、市場トレンドを先取りし、市場より先行した開発を進めてまいります。



垂直型OSFP コネクタ [VLC-OSFP]

\*1 Octal Small Form Factor Pluggable：光ファイバーを通信機器に接続する光トランシーバの規格  
\*2 電子部品の種類の1つで、特定の用途向けに複数機能の回路を1つにまとめた集積回路の総称  
\*3 Vertical Line Card (VLC) は、データセンターの通信機器において、高い伝送速度と高い密度を実現するための新しいアーキテクチャ

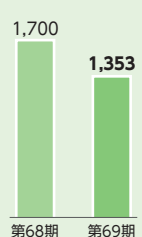
## 光関連事業

RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザ光源、等

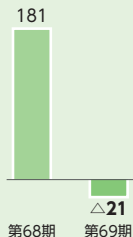
売上高構成比  
**3.7%**

(単位：百万円)

売上高

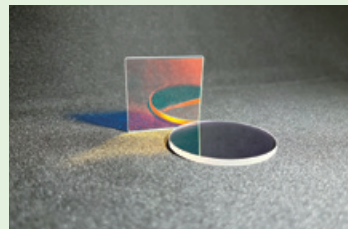


営業利益



### 次世代デジタルホログラフィー撮像装置用マルチバンドパスフィルタを開発

次世代デジタルホログラフィーは、レーザーを使わず太陽光やLED光で被写体の3次元位置情報を取得でき、大がかりなレーザー装置を必要としない、撮影環境や対象物に制約がない、レーザー光による眼や皮膚の損傷の恐れがないという利点があり、エンターテインメントの分野で使用される高精細3D撮影装置だけでなく、ライフサイエンス研究用の蛍光顕微鏡、産業機械用の3次元粒子位置計測装置、振動・変位計測装置など幅広い分野への応用が期待されています。当社では次世代デジタルホログラフィー撮像装置の実現に不可欠なマルチバンドパスフィルタを開発しました。今後も撮像装置の実用化及び製品化に向けて技術開発を推進してまいります。



マルチバンドパスフィルタ



# トピックス

世界的な半導体需要の拡大による半導体テストソケットの安定供給及び、コネクタソリューションの多様化する顧客ニーズへのスピーディな対応を目指し、新たに2つの工場を立ち上げました。



佐倉事業所 第2棟

2024年3月稼働



プレスエリアイメージ めっきエリアイメージ

「建築物省エネルギー性能表示制度「BELS\*1）」で5段階評価の最高ランクを獲得し、「ZEB\*2 Ready」認証を取得



フィリピン 第3工場

2024年3月稼働

フィリピン建築基準 (NSCP: National Structural Code of the Philippines 2015) のZONE4 (震度7) に対応した基礎構造を採用

## ◆ 佐倉事業所第2棟 概要

所在地 : 千葉県佐倉市大作  
構造 : 鉄骨造地上2階建て  
敷地面積 : 52,327㎡  
建築面積 : 3,121㎡  
延床面積 : 5,550㎡  
投資総額 : 約15億円  
工場稼働 : 2024年3月

◆ 1階をプレスエリア、2階をめっきエリアとし、材料搬入からプレス、洗浄、熱処理、めっき、梱包までの生産工程を効率的に行えるレイアウトを採用。

## ◆ フィリピン第3工場 概要

所在地 : Bulihan, Malvar, Batangas Philippines  
構造 : 鉄骨造平屋建て  
取得土地面積 : 33,696㎡  
建築面積 : 7,376㎡  
延床面積 : 7,065㎡  
投資総額 : 土地 約9億円 / 工場建築 約11億円  
工場稼働 : 2024年3月

◆ 本第3工場の稼働で、フィリピン3工場が稼働した際の生産能力は、従来(第1工場、第2工場のみ稼働時)と比べて約1.5倍へ。

\*1 Building-Housing Energy-efficiency Labeling Systemの略称で、2014年に一般社団法人住宅性能評価・表示協会により開始された、建築物の省エネルギー性能の表示制度です。BEI (省エネルギー性能指標) 値を算出し、その値によって星の数で5段階評価が行われます。更に省エネルギー性能に優れた建物はZEBとして認証されます。

\*2 Net Zero Energy Buildingの略称で、省エネ対策により一次エネルギー消費量を削減した上で、再生可能エネルギー等の導入によりエネルギー収支をゼロにすることを旨とした建築物です。定義のうち、「ZEB Ready」は基準一次エネルギー消費量を省エネで50%以上削減している建物を指します。

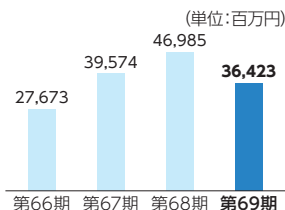
## 自己株式取得内容

取締役会決議日	取得上限株数	取得上限金額	取得期間
2024年5月14日	500,000株	1,000,000,000円	2024年6月1日～2024年12月31日

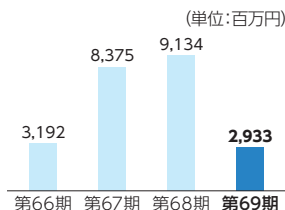


# 連結業績ハイライト

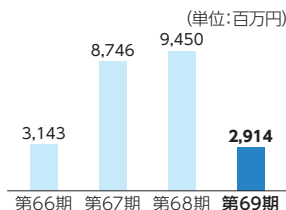
## 売上高



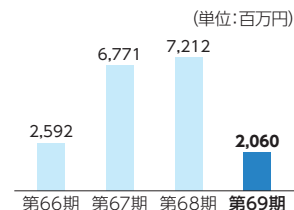
## 営業利益



## 経常利益



## 親会社株主に帰属する当期純利益





# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 (2024年3月31日現在)	前期 (2023年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>29,715</b>	<b>32,694</b>
現金及び預金	13,104	17,230
受取手形及び売掛金	7,584	6,705
棚卸資産	6,880	6,547
その他	2,145	2,211
<b>固定資産</b>	<b>21,346</b>	<b>17,674</b>
有形固定資産	19,086	15,813
無形固定資産	517	229
投資その他の資産	1,742	1,631
<b>資産合計</b>	<b>51,062</b>	<b>50,368</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>9,231</b>	<b>10,428</b>
支払手形及び買掛金	2,454	2,220
短期借入金	2,799	3,100
その他	3,977	5,107
<b>固定負債</b>	<b>3,566</b>	<b>2,926</b>
長期借入金	410	450
その他	3,156	2,476
<b>負債合計</b>	<b>12,797</b>	<b>13,355</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>34,912</b>	<b>35,303</b>
資本金	10,084	10,084
資本剰余金	1,623	1,788
利益剰余金	25,297	26,782
自己株式	△2,092	△3,351
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>3,161</b>	<b>1,409</b>
新株予約権	-	178
非支配株主持分	189	122
<b>純資産合計</b>	<b>38,264</b>	<b>37,013</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>51,062</b>	<b>50,368</b>

## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	前期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>36,423</b>	<b>46,985</b>
売上原価	25,318	29,230
<b>売上総利益</b>	<b>11,105</b>	<b>17,754</b>
販売費及び一般管理費	8,171	8,620
<b>営業利益</b>	<b>2,933</b>	<b>9,134</b>
営業外収益	349	561
営業外費用	368	245
<b>経常利益</b>	<b>2,914</b>	<b>9,450</b>
特別利益	169	0
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>3,084</b>	<b>9,450</b>
法人税、住民税及び事業税	710	2,336
法人税等調整額	261	△89
<b>当期純利益</b>	<b>2,112</b>	<b>7,203</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	52	△9
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>2,060</b>	<b>7,212</b>

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	前期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,230	10,846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,221	△4,858
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,432	△3,355
現金及び現金同等物に係る換算差額	760	553
現金及び現金同等物の増減額	△3,662	3,186
現金及び現金同等物の期首残高	16,734	13,548
現金及び現金同等物の期末残高	13,072	16,734

## ■ 会社の概要 (2024年3月31日現在)

商号	山一電機株式会社
所在地	東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
設立	1956年11月
資本金	100億8,410万円
従業員数	389名 (連結 2,123名)
主な事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>テストソリューション事業</li> <li>コネクタソリューション事業</li> <li>光関連事業</li> </ol>

## ■ 株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	21,829,775株
株主数	7,944名
単元株式数	100株
大株主	

株主名	持株数	持株比率
	株	%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,948,500	14.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,800,900	13.70
NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC	986,500	4.82
RE FUND 107-CLIENT AC	800,000	3.91
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	576,411	2.81
MICHAEL 1925 LLC	426,400	2.08
日本生命保険相互会社	421,075	2.05
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	400,000	1.95
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	339,656	1.66
山一電機従業員持株会	329,858	1.61

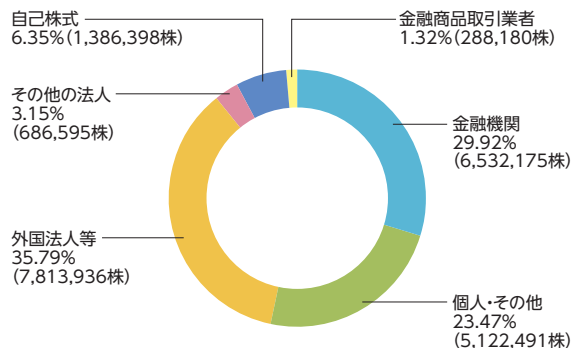
(注) 1. 当社は、自己株式を1,386,398株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式1,386,398株を控除して計算しております。

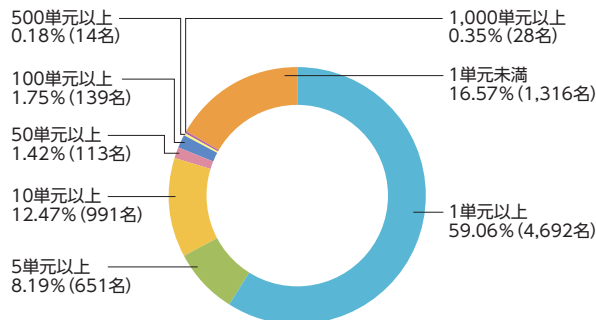
## ■ 役員 (2024年6月26日現在)

取締役会長	太田 佳孝	取締役 (常勤監査等委員)	柳澤 光一郎
代表取締役社長	亀谷 淳一	社外取締役 (監査等委員)	岡本 忍
取締役	土屋 武	社外取締役 (監査等委員)	村瀬 孝子
取締役	松田 一弘		
取締役	岸村 伸洋		
社外取締役	村田 朋博		
社外取締役	佐久間 陽一郎		
社外取締役	依田 稔久		

## ■ 所有者別株式数分布状況 (2024年3月31日現在)



## ■ 所有株数別株主数分布状況 (2024年3月31日現在)



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 (プライム市場：証券コード6941)
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

### 【お知らせ】

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様

声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー



スマートフォンから  
カメラ機能でQRコードを読み取り  
QRコードは株式会社プロネクサスの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。  
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 [koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)

## IRサイトのご案内

IR情報はホームページからもご覧いただけます。

<https://www.yamaichi.co.jp/ir/>



今後も、「株主の皆様へ」の情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

 山一電機株式会社

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号  
☎03-3734-0115 (株主様専用) ☎03-3734-0120  
ホームページアドレス <https://www.yamaichi.co.jp>

UD  
FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

